

# RSウイルス妊婦用ワクチン

## 「アブリスボ®」の接種のお知らせ

(2024年7月開始)

RSウイルスに対するワクチン「アブリスボ®」を妊婦さんに接種すると母体内でウイルスに対する抗体が作られ、その抗体が胎盤を通じておなかの赤ちゃんに届きます（母子免疫ワクチンといいます）。母子免疫ワクチンにより、生まれてくる赤ちゃんのRSウイルス感染を予防したり、感染しても重症化を防ぐ効果が期待されます。接種をご希望される方は妊婦健診時に担当医へお伝えください。

### RSウイルスとは

RSウイルスはあらゆるところに広く生息するウイルスで、日本では生後1歳までに50%以上、2歳までにほぼ100%の子どもがRSウイルスに初感染するといわれています。乳児の細気管支炎や肺炎の主な原因であり、特に生後6ヶ月未満で感染すると重症化することがあります。

### 接種時期

妊娠28週～妊娠36週

- ・妊娠24週から接種可能ですが、妊娠28週～妊娠36週に接種すると有効性が高いといわれています。
- ・接種後14日以内に出生した場合、児へのワクチンの効果は不確かです。
- ・本剤の児への効果の持続性についてはわかりません。

### 投与方法

0.5mlを1回、筋肉注射

### 金額

¥38,500（税込）



### お申し込み

妊婦健診時に接種いたします。接種をご希望の方は担当医にお伝えください。

※ただし、お申し込み当日に接種ができない場合があります。ご了承ください。

### 参考資料

RSウイルスを学ぶ  
(Pfizer社Webサイト)



アブリスボについて  
(Pfizer社Webサイト)



日本小児科学会  
Webサイト



日本産科婦人科学会  
Webサイト



ご不明点やご質問がありましたら、妊婦健診時に担当医にお尋ねください。



山王バースセンター

東京都港区赤坂8-10-16  
診療受付時間：8:30~11:30 13:00~16:30（月～土）  
電話：03-3402-3150（代表）、03-3402-3150（予約センター）